

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年7月22日】第91号



## 夏野菜の収穫

校舎のテラスで、また「稲花小の畑」で、トマト、ナス、エダマメ…と収穫が続いています。様々な方の応援を得ながら子どもたちが育てた夏野菜です。ご家庭に持ち帰ったり、ほかの学年にプレゼントしたりと、大切に育てたものですから一つとして無駄にされることはありません。7月21日(水)終業式の日のご給食、夏野菜のカレーライスは、「稲花小の畑」で収穫されたミニトマトとナスがたっぷり使われました。



## 人気のカブトムシそしてセミの抜け殻

図書室前では今、クワガタムシ標本、オタマジャクシに加えて、カブトムシが子どもたちの人気を集めています。東京農業大学生物資源開発科教授の松林尚志先生が、幼虫をお届けくださったもので、今では立派な成虫に育っています。実は、松林先生のご専門はマレーシアの熱帯雨林をフィールドにしたオランウータンなど野生動物の研究です。子どもたちにはいずれ、先生から野生動物のワクワクするようなお話を聞かせていただきたいと思います。

夏休みを前に、セミの抜け殻を集める子どもたちも増えました。ダンゴムシのブームは去ったようです。ただし、学習に関係のないものは校内に持ち込まないという約束から、玄関前の植え込みにそれぞれが抜け殻を隠したり？あるいは枝に止まらせてたりしてから教室に向かっています。こっそり持ち込もうとする子どももいますが、友だちの様子を見ながらルールを理解していくようです。

野生動物の研究：<https://sites.google.com/site/matsubayashihisashi/>

## 東京農業大学富士農場宿泊学習説明会

7月19日(月)、東京農業大学富士農場宿泊学習について3年生保護者向け説明会をオンラインでおこないました。9月に予定している学習ですが、学習の目的、新型コロナウイルス感染症防止に対する方針、1泊2日の行程、持ち物、夏休み中に宿泊学習に向けて身に付けておいてほしい生活習慣などについてご説明しました。生き物や畜産について理解するよい機会となると期待しています。東京農業大学富士農場の教職員の皆様にご協力いただき、また、新型コロナウイルス感染症防止を第一に準備を進めてまいります。



東京農業大学 農場・植物園・演習林・学部研究センター

<https://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/farm/>

## SDG s を英語で

7月9日(金)および12日(月)、3年生のそれぞれの組で、SDG sについて学ぶ授業を校長が行いました。SDG sは2030年までの国際社会共通の持続可能な開発目標です。子どもたちにはSDG sの17のゴールを学ぶとともに、2030年の地球と自分の姿を考える機会となりました。さらに、英語講師の指導により「大人になったら何になりたい? なぜ?」のダイアログを練習。子どもたちの素敵な夢を聞くと、それが実現してほしいと強く願います。校長としての責務の重さを改めて感じました。

文部科学省：特集 SDGs(持続可能な開発目標)と科学技術イノベーション

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpaa201801/detail/1418488.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa201801/detail/1418488.htm)

## 東京農業大学第一高等学校・中等部説明会

7月21日(水)18時より、東京農業大学第一高等学校・中等部(田中越郎校長と紙谷知行教頭に中等部説明会を行っていただきました。オンラインで、3年生となった本校1期生保護者限定です。

農大稲花小では、進学希望の児童が中等部に進学できる力をつけることを目標に教育をおこなっています。しかし、中等部の教育の理念を理解していなければ、児童の能力や個性あるいは家庭の教育方針とのミスマッチが起きる恐れがあります。このことから、田中校長と紙谷教頭には、どのような中高生を育てようとしているのか、また、どのような学校生活なのかを中心にお話をお願いしました。田中校長の教育における哲学、紙谷教頭の教育への熱意を、保護者の皆様も理解していただけたことと思います。

東京農業大学第一高等学校中等部：<https://www.nodai-1-h.ed.jp/>

## 終業式も無事に

7月21日(水)、農大稲花小では無事に1学期が終業し、夏休みを迎えました。子どもたちはたくさん成果物とともに、成績表「みのり」を持ち帰りました。

本校では、開校時から児童の学力を教育の指標「10の能力」という視点でとらえることに取り組み、成績表「みのり」に集約して保護者へお伝えしてきました。本年度は、1年目、2年目の成績評価を経て成績表「みのり」に大幅な改訂を行いました。この改訂は、本校の教育理念「冒険心の育成」具現化のための教育指標「10の能力」の到達度に一層着目し、これを評価の対象とするとともに、各教科で身に付けるべき資質・能力の到達度を示す3観点での評価を加えることにより学習に向かう姿勢とその成果、すなわち学力を明確に示そうとするものです。いわゆる「狭い意味での学力」でのみではなく、長期的に学び続け伸び続けることのできる資質ともなる「10の能力」を身に付けてほしいと願っています。

本校では一律に課す夏休みの宿題はありません。しかし、適切な学習習慣や生活習慣の維持は当然のことで、学びを止めるのは望ましくありません。夏休みにはまとまった時間があります。1学期までの復習、体力の増強、研究、工作、読書、趣味や習い事など、児童の興味・関心に合わせ、またご家庭の方針に合わせてそれぞれがじっくり取り組んでください。また、かけがえのない思い出や経験を共有し、家族の絆を強めていただくことを期待しています。安心して過ごせる家族がいてこそ、児童は伸びていくことができます。

2学期の始業式、子どもたちが元気に登校してくることを楽しみにしています。

校長 夏秋 啓子